

にちにちこれこうじつ 日日是好日



群馬県立桐生特別支援学校
令和5年 6月23日
校長日より No. 8

暑い夏がやってきました。夜の寝苦しさを覚える日もあります。児童生徒は十分に睡眠がとれているでしょうか。エアコンのかけ過ぎ、冷たい飲み物の飲み過ぎで、体調不良が起きないように気を付けたいものです。暑いと、集中力が欠け、動くのも億劫になります。宿泊学習で発揮した主体的に動く姿を何とか継続させたいものです。

小学部の宿泊学習（6月7・8日）には出張のため参加できなかったのですが、教頭先生から小学部生が、山登り、キャンドルファイヤー、食事、入浴、就寝・起床、清掃など（係の仕事も）皆よく頑張りましたと報告を受けています。教頭先生が部屋のシーツと枕カバーをまとめて1階に置きにきた様子を見かけたAさん、「あっ」と言っている（係の仕事に気づいて）自分から教頭先生のところまで受け取りに来てくれて、回収ボックスに入れてくれたそうです。宿泊学習では、部屋ごとに係があり、他の子がしていない仕事があるので、うっかりすると忘れてしまいがちです。いつもとは違う場所で、違う流れで生活するのは、子どもたちを成長させてくれます。

6月15・16日と、全国特別支援学校長研究大会に参加してきました。一日目が全体会、二日目は5部会に分かれました。文部科学省からの行政説明、講演会、実践発表会等に参加してきました。特別支援教育の動向、次の学習指導要領の改訂に向けての動き、知的障害教育における自立活動についてなど、学校運営を進める上で新たな視点をたくさんいただけてくることができました。

大阪府にある特別支援学校の実践発表では、学校自体が福祉施設の敷地内に設置されており、児童生徒366名のうち三分の一は施設に入所しています。この学校では、学校支援ボランティアさんの活動が盛んで、地域の方々が花壇整備、授業補助、読み聞かせなどを続けています。そして、10月にPTA主催で地域の方々や卒業生を招いて「ミニ運動会」を開催しているというお話を伺いました。教育コミュニティづくりのノウハウを詳しく聞いてみたいと思いました。

19日の午前中に高学年の水泳指導があり、これで全学年が今年のパールを経験しました。屋外プールなので、天気めぐり合わせによっては、プールに入れない日が続きます。様子を見にいくと、みんな浮き輪につかまり楽しそう。私に気づいたBさん、「先生も入りなよ。」と言葉をかけてくれました。高学年ともなると、友達同士で関わり合いながら浮き輪に乗って遊ぶ姿が見られます。

中学生用のプールですが、水量を調節して水深を浅くしたり、低学年用に2コース分は台を敷いたりしているので、みんな安心して水泳を楽しんでいます。



中学部3年生を担当する河内教諭は、今年度、群馬県総合教育センターの特別研修員となって教育課題改善を目指した研修を、「自立活動」で行っています。20日は、指導主事を迎えて研究授業を行いました。菱小学校の通級指導教室の先生方も参観にみえました。自立活動は特別支援学校ならではの指導です。内容としては、「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の6区分で27項目あります。この内容は個々の実態に応じて必要な項目を選定して取り扱います。独自に教材等を開発して行うケースも多いので、個に応じた良い実践事例が発表できると期待しています。

21日に第1回の学校見学会を開催しました。桐生市は教育支援が丁寧で、「つばさクラブ」を運営していることもあり、比較的進学先決定はスムーズに行われていると聞いています。実際に児童生徒が楽しく学んでいる様子を見ていただき、進路選択に役立てることができたのではないかと思います。

